



市民の手で市民活動を支える

特定非営利活動法人

宝塚NPOセンター

通信
No.67
2011.6



市民による市民のための市民の宝塚NPOセンターに！

理事長 牧里 每治

(関西学院大学人間福祉学部教授)

※2011年6月14日付けで理事長に就任

このたび理事長に返り咲きました。森綾子の逝去に短い人生の儚さを悼んでくださった方も多いのではないかと思います。おそらく彼女の胸の内にはやり残した夢も願いもたくさんあったでしょうが、志なかばにして逝ってしまいました。NPO支援の活動を通じて宝塚市民の市民力を高めるといふ彼女の願いは、残された者が継承し発展させなければなりません。その遺志を継ぐためにも、宝塚NPOセンターが市民による市民のための市民の宝塚NPOセンターに成長することが肝要と思います。

宝塚NPOセンターは兵庫県下の公益的な目的をもつ活動に市民団体として取り組んできただけでなく、広く近畿一円にひろがるNPO設立および運営の支援に関わってきました。どれだけの多くのNPO関係者が宝塚NPOセンターを頼りにしてきたか計り知れません。

言うまでもなく宝塚歌劇の知名度も高く、それにあやかって宝塚NPOセンターは宝塚市域を越えた活動ができたのかもしれませんが。その意味では宝塚NPOセンターも宝塚スターのように「清く正しく美しく」なければなりません。多くのNPO関係者が憧れるような模範的なNPOセンターになることが宝塚NPOセンターの使命ではないでしょうか。

市民の力で誕生した宝塚NPOセンターの志の

炎を消さないランナーの一人として努力したいと思えます。

宝塚NPOセンターのミッション(使命)が市民力の養成にあるとするならば、それはコミュニティ・ビジネスなどの市民事業力の養成にあるのではないかと思います。なにをもって市民力とするか諸説あると思いますが、宝塚NPOセンターがターゲットにする市民力とは、まさしく生活、ビジネス、地場産業育成など市民の雇用・就業を通じて市民の社会参加を推進すること、それを起点に社会貢献できる公共的な事業を起こす市民起業力というのではないのでしょうか。宝塚NPOセンターの役割は、社会参加と社会貢献できる市民起業力のあるNPOを持続的に支援し続けることにあるのではないかと考えます。

人に優しい持続的な市民社会を築くには、安全で安心な暮らしを創り出す仕事と共に生きることのできる生活の場がなければ成り立ちません。地域社会と職域社会が存在すると仮定して、この二つが分離しすぎた市民社会を安心・安全社会に回復させるには、地域社会のなかに医療や福祉や教育、そして生活を支えるコミュニティ事業を復権させなければなりません。宝塚NPOセンターは、いわば新しい職域社会の再生と地域社会の活性化に及ばずながら地元貢献できると確信しています。

2011年通常総会 報告

- 日時 2011年5月15日(日) 13:30~15:00
- 会場 安心コミュニティプラザ栄町会館
- 参加人数 正会員 102名(うち委任状 74名)にて提案された議案・報告はすべて承認可決されました。

2010年度事業会計収支計算書

I. 経常収入の部	金額(円)
会費収入	1,618,000
寄付金収入	1,679,650
助成金・補助金収入	13,777,000
事業収入	1,048,725
委託収入	42,834,650
雑収入	365,983
経常収入合計	61,324,008
II. 経常支出の部	
啓発事業費	1,946,142
宝塚市民活動促進事業費	7,772,955
宝塚市総合計画作成業務	4,185,545
生きがいしごとサロ-トセンタ-事業費	12,969,328
宝塚市若者就労支援事業費	1,149,614
インキュベーション事業費	2,878,389
ふるさとCB創出支援事業費	11,920,265
兵庫県就職促進事業費	5,715,783
兵庫県きらっとネットワーク事業	2,452,317
兵庫県地域づくり担い手育成支援事業	5,269,770
事業費合計	56,260,108
管理費合計	2,141,330
経常支出合計	58,401,438
経常収支差額	2,922,570
当期収支差額	2,922,570
前期繰越収支差額	11,720,362
次期繰越収支差額	14,642,932

2011年度事業収支予算書

I. 経常収入の部	金額(円)
会費収入	1,500,000
寄付金収入	1,520,000
助成金・補助金収入	14,600,000
事業収入	1,046,000
委託収入	28,415,850
雑収入	100,000
経常収入合計	47,181,850
II. 経常支出の部	
啓発事業費	1,488,190
宝塚市民活動促進事業費	6,526,200
生きがいしごとサロ-トセンタ-事業費	13,390,600
宝塚市若者就労支援事業費	1,146,000
アドプト事業費	2,659,650
ふるさとCB創出支援事業費	11,919,000
兵庫県就職促進事業費	5,715,000
東日本大震災被災者支援事業費	1,220,000
事業費合計	44,064,640
管理費合計	1,991,000
経常支出合計	46,055,640
経常収支差額	1,126,210
当期収支差額	1,126,210
前期繰越収支差額	14,642,932
次期繰越収支差額	15,769,142

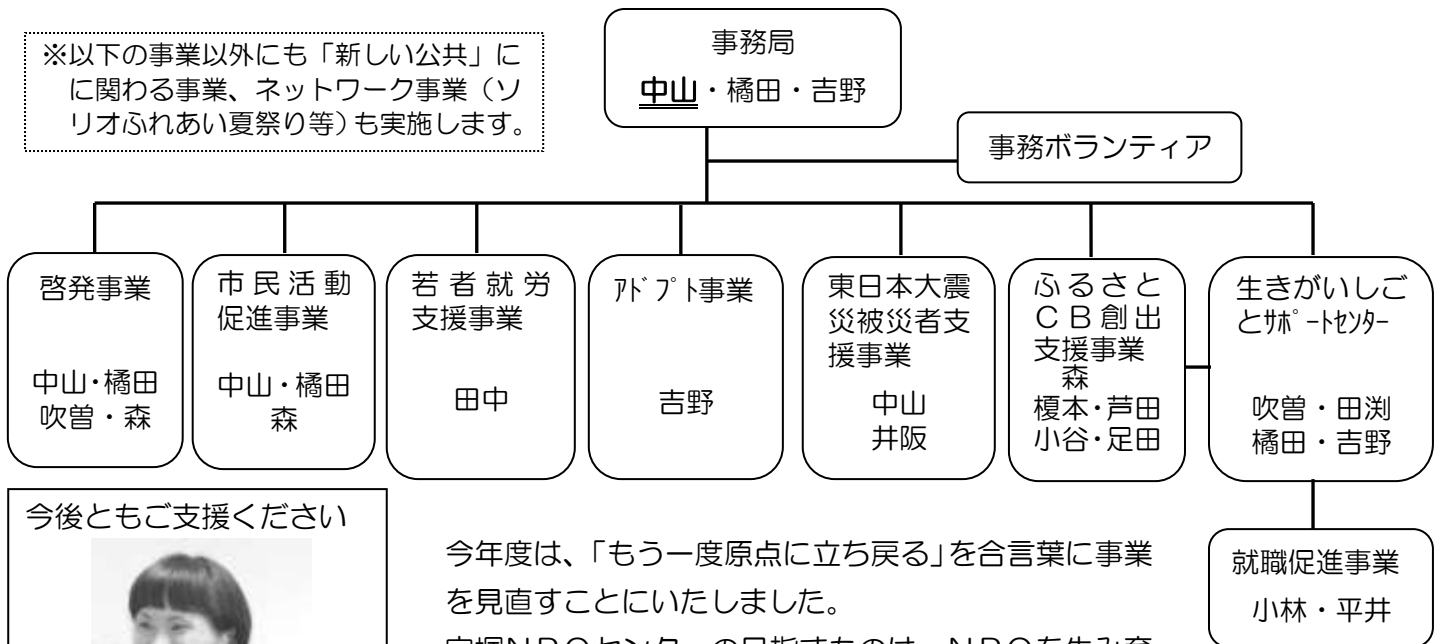
役員選任について

●任期満了に伴う役員の選任が承認されました。

任期満了役員		氏名
理事	退任	竹内 浩
理事	再任	江守 典子
理事	再任	遠座 俊明
理事	再任	牧里 每治
理事	再任	名取 千里
理事	再任	吹曾 幸雄
理事	再任	鶴丸 悌二
理事	再任	野尻 俊明
理事	再任	清瀬 勲
理事	再任	西岡 輝子
理事	再任	高松 泰子
理事	再任	中山 光子
監事	再任	福間 則博
監事	再任	森田 義

2011年度 宝塚NPOセンター 新体制・事業

※以下の事業以外にも「新しい公共」に関わる事業、ネットワーク事業(ソリオふれあい夏祭り等)も実施します。



今後ともご支援ください



理事・事務局長 中山光子

今年度は、「もう一度原点に立ち戻る」を合言葉に事業を見直すことにいたしました。
宝塚NPOセンターの目指すものは、NPOを生み育て、市民力が発揮できる社会を築くこと。
皆様とともに歩み「市民活動の交差点」であり続けたいと考えています。ご支援をお願いいたします!

できることから始めよう!

東日本大震災被災者支援

~COCOKARA (ここから) プロジェクト~のご報告

3月11日に発生した東日本大震災。宝塚NPOセンターは「被災地には行けないけど・・・何かしたい!」そんな声を集め「ここにいるから、できること」COCOKARA (ここから) プロジェクトをスタートさせました。多くのボランティアや団体の力と知恵を集めて動いた3ヶ月間。動くことによって、「何か私にもできることを」「参加したい」の声がセンターに寄せられています。

中長期的支援が必要な今回の災害。寄せられた声がより大きな輪になって広がることを、宝塚NPOセンターは支援していきます。

これまでの取り組み

◆市営住宅入居者への家財搬入

被災者のために提供した宝塚市営住宅15戸に、市民から提供を受けた家財道具を届け入れました。活動日数は5日間。

参加ボランティアのべ32名。



◆寄付や活動のコーディネート

- ・ガールスカウト作成 子どものための「ウェルカムバック」配布コーディネート
- ・寄付希望者の相談受付
- ・宝塚市安倉地区水利組合企画「サツマイモ苗植え付けイベント」企画コーディネート
- ・福島県内作業所の授産品販売会場のコーディネート

◆集いの場づくり

関西に来られた被災者のネットワーク作りを目的とした集い場、都合の良い時間にふらっと来てふるさとの言葉で話せる「お茶っこカフェ」を月1回開催

- ・5月14日(土) 13時~16時 参加者(6世帯16名)
- ・6月11日(土) 13時~16時 参加者(11世帯22名)



□妙見山ピクニック

- ・7月9日(土) 開催予定 能勢電鉄との共同企画

4月23日、森専務理事を偲ぶ会において、NPOセンターの東日本大震災支援活動に50,100円のご寄付をいただきました。有難うございました。皆さまにご満足いただけるよう、有効に使わせていただきます。

~お茶っこカフェに参加された方の声から~

原発が心配で岡山に避難した。岡山でも女子サッカーの試合の招待があり行ってみたが、だれが被災者かわからず、何の交流もできなかった。

「お茶っこカフェ」へは、ネットで調べて車で2時間かけて来た。自分たちも繋がりが作れ、子どもたちが楽しそうで良かった。

茨城県も福島と同じくらいの放射能値の所があるのに、世間あまり知られていない。食糧も、ガソリンも、物資もなかった。

実家に避難しているが、親でさえこの不安をわかってもらえない。だから同じ境遇にいる人たちと分かち合いたくて来ました。

NPO 法改正案成立

6月15日、参院本会議でNPO法改正案が全会一致で可決され、来年2012年4月1日から施行されます。主な改正点は次の通りです。

- (1)活動分野がこれまでの17分野から20分野に増えます。
- (2)NPO 法人の財務諸表を明確にする「NPO法人会計基準」を採用。(→透明性を高め信頼性向上)
- (3)「認定 NPO 法人」についての認定機関(現行:国税庁)から都道府県・政令市へ移管(→認定相談・受付が簡易)
- (4)寄付集めのスタートアップを支援する「仮認定制度」を導入(→認定要件の大幅な緩和)

今回の改正により、認定NPO法人の大幅な拡大が期待できます。寄付金使途などについて、より透明性の高い会計報告も可能になり、本当に社会に必要な活動をしている団体であるかがますます問われるようになります。

「NPO・コミュニティビジネスの日」相談日のご案内

「NPO・コミュニティビジネスってなに?」「ぜひ学んでみたい!」「コミュニティビジネスを立ち上げたいけれど、何が必要なのだろう?」と考えておられるみなさんに、宝塚NPOセンター事務局のスタッフがお答えします。相談日以外でも個別にご質問・ご相談にお答えさせていただきます。いずれの場合も、ご希望の方は事前にお申込みをお願いいたします。(TEL:0797-85-7766 FAX:85-7799) 今年度の相談日は以下の通りです。

2011年●7月15日(金)●8月6日(土)●9月15日(木)●10月15日(土)●12月15日(木)
2012年●1月17日(火)●2月15日(水)●3月15日(木)

第7回ソリオ宝塚ふれあい夏まつり 開催のお知らせ!!

開催日:8月24日(水) 場所:阪急宝塚駅前 交通広場

内容:安心・安全野菜市/盆おどり

詳しくは宝塚NPOセンターまで(TEL:0797-85-7766)



会員募集・継続のお願い

あなたの志が社会を変える活動を支えています。NPO・NGOの先駆的で創造的な活動は、変革の担い手としての新しい市民社会の実現に貢献しています。志と情熱をもって社会の課題に挑戦する人を支援しています。皆様の会費や寄付は活動資金として、ボランティアとして提供される知識や技術は活動の活力となっています。どうぞ一緒に会員としてNPO・NGOを支える活動に参加してください。

[正会員]個人会員 10,000円/団体会員(NPO・市民活動団体) 10,000円/法人会員30,000円/[準会員] 3,000円
銀行振込:三菱東京UFJ銀行 阪急宝塚出張所 普通預金3629422口座名義 特・宝塚NPOセンター
郵便振替:口座番号 00930-8-77117 口座名義 宝塚NPOセンター 郵便振替用紙をご利用下さい

ご支援ありがとうございます (順不同、敬称略 2011.6.25 現在)

新たに入会された皆さん

【法人会員】(株)兵庫福祉保険サービス 【団体会員】(特)日中会計税務交流機構、(特)断糖健康倶楽部
【個人正会員】近藤泰弘 【個人準会員】沼田慶子、金澤喜八郎

寄付をいただいた皆さん

車田清美、山口一史、(特)ハートライフ福祉協会、西岡輝子、鶴丸悌二、大上清、中務公子、掛水すみえ、大野貞子、寺村浩、石川純

当センターも新体制となり原点に立ち戻って(!)、まずは事務所の模様替えを実施しようとボランティアさんのご協力を得て、書類整理をしています。事務所に来てくださる方々の居心地のいいようにチェンジ>>します。7月には少し綺麗になっていると思いますので、是非覗いてみてください。いネ。(T.K)

特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター

〒665-0845

宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

Tel 0797-85-7766

Fax 専用 0797-85-7799

利用時間 9:00~18:00

休館日 日・祝日・年末年始

Email zukanpo@hnpo.net

URL <http://voluntary.jp/zukanpo/>

生きがいごとサポートセンター阪神北

Tel 0797-87-4350

Fax 専用 0797-87-7799

Email cdc@hnpo.net

URL <http://voluntary.jp/hnpo-net/>